

## クローズアップ定例委員会

今回は、10月から12月までの協議・報告事項の中から、「車両流入抑制対策に係る実証実験の実施について」の内容をお知らせします。

## 車両流入抑制対策に係る実証実験の実施について

市は古い町並周辺の安全で快適な歩行空間を確保するために、市営神明駐車場のバス区画を普通車区画に変更し、バス車両の流入を抑制する実証実験を令和6年6月15日から実施しました。

1か月の実証実験を経て、一定の調査データが取得できる見込みとなったことから、周辺の店舗やバスツアー客への影響を踏まえ、当初7月31日までとしていた期間を短縮し、7月15日をもって終了しています。

取得した調査データは、まずAIカメラによる中橋のバス通行量や中心市街地の歩行者通行量、バス駐車場及び匠バスの利用状況、そして周辺道路における乗降の状況、それからバス運転手・観光客・旅行会社・周辺店舗等へのヒアリング、高山市街地の観光の動向といったように、人流や観光事業への影響等について、いずれも昨年と比較できるだけの一定のデータを取得しました。

令和6年7月22日開催の産業建設委員会にて実証実験の終了が報告され、12月17日の同委員会では取得した調査データの内容などが公表されて、今後の方針が示されました。



観光バスの動線の一方通行の試行

## ●議会の視点

**問** 実証実験の期間中に様々な意見があったと思われるが、具体的にどういった御意見をいただいたのか。

**答** 実証実験の期間が半分ぐらい過ぎた頃に、駐車場周辺の店舗等にヒアリングを行ったところ、地域の店舗の経済、売上等に影響が見られた。特に短時間滞在するバスツアーが、神明駐車場と別院の駐車場では、高山陣屋や古い町並との距離が少し離れるといった御意見をいただいた。

**問** そうした御意見が出てくるのは想定内だと考えるが、実際に実証実験を実施して、事前の想定や懸念点を踏まえて、想定外だった部分はあるのか。

**答** 人流の変化や地域の商店への影響は当初から想定をしていた。実際にどのくらいの影響があり、どういう状況であったのかについては、調査結果を踏まえながら整理をする必要がある。

**問** 当初予定していた3ヶ月の実施期間を1ヶ月半に短縮してスタート、そして実施期間中にまた期間を短縮して1ヶ月で終了するという流れは、一般市民からすると行政がぶれたと受け止められないか。また、実施期間中に相当厳しい声があったのではと推測するが。

**答** 当初の実施期間は3ヶ月としていたが、予備の日程もかなり見ていたので精査した結果、期間を1.5ヶ月に変更して実施した。期間中に天候の大きな崩れや災害などが起こらなかったため、統計データとして十分に活用できると判断し、周辺の店舗やバスツアー客への影響を踏まえて、期間を短縮して終了した。駐車場周辺の店舗を20軒以上はヒアリングに回ったが、売上等の話だけではなく、将来の高山のことを考えた建設的な意見も多数いただき、相当な強い反発があったという状況ではなかった。



大型バスが中橋を通行する様子